

## 各委員からのご意見

### 【児童生徒の心を耕す教育の推進】

- ・人間関係づくりや、安心できる居場所づくりなど、心の教育の充実が必要。
- ・全教育課程を通じて、心を耕す教育をしていかなければならない。
- ・主体的に行動し、自ら決定していく子どもをどのように育てていくか。
- ・子どもたちの自治能力をどう高めていくか。
- ・大人の社会では犯罪に当たる行為が数多くあることを、きちんと教育する必要がある。

### 【教職員の資質能力の向上】

- ・徹底した組織的対応が必要。
- ・教科道徳になるまでに、しっかりとした準備研修や認識を深めることが必要。
- ・いじめが「見える」ようにするため、アンケートや調査など、多角的にみるのが大事。
- ・徹底して事例を研究することが必要。
- ・外部専門家として、各学校の事例研修にも参加させていただきたい。

### 【学校・家庭・地域・関係機関が連携した取組の促進】

- ・家庭や地域で子どもが育つ初期の段階において、人間関係をいかに優しいものに構築していくか。
- ・自然に連れ出す「体験活動」など、教科学習以外の側面で、取り戻していく作業が必要。
- ・ネットいじめ等に関しては、保護者の関心は高いが、トラブルの実態を理解できていない。
- ・心が満たされていない家庭へ、子育ての支援が必要。

### 【相談体制の整備・充実】

- ・学校の先生やスクールカウンセラー、民生委員の方と医療機関との連携を密にして情報交換をしていくことが大切。
- ・就学前の子どもたちの課題をどのように解決していくか。
- ・相談事案に対して総合的にアセスメントし、コーディネートしながらそれをクリアしていくといった仕組みが必要。
- ・どこで専門的な人が関わっていくかという視点が大切。

## 取組の方向性

### 1 学校・教育委員会を中心とした取組の充実

- **心を耕す教育（道徳教育・キャリア教育・人権教育等）の推進**
  - ・リーダー教員等の育成を通じた取組の推進
  - ・道徳教育や情報モラル教育に関する実践事例集等の作成・配付による取組の推進
  - ・警察と連携した、非行防止教室やいじめ防止教室等の実施
- **子どもの力を引き出す開発的・予防的生徒指導の推進**
  - ・小中連携による開発的生徒指導の実施
- **具体的な事例に基づいた校内研修の実施**
  - ・医師会、弁護士会などの関係機関との連携による校内研修の充実
- **子どもたちの自主的な活動の推進**
  - ・「いじめ防止子どもサミット」をきっかけとした、学校、地域ぐるみの取組の推進
- **いじめアンケート等による多角的な実態把握とその分析力の向上**
  - ・アンケートや二者面談等を複合した多角的な実態把握と「組織」を活用した分析
- **校内組織を活用した組織的対応の徹底**
- **教育相談体制の充実**
  - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の拡充
- **保護者の子育て力の向上**
  - ・講話やワークショップでの保護者啓発や、一日保育者体験による保護者と園の相互理解の促進

### 2 家庭、地域、関係機関と連携した取組の充実

～社会全体でのいじめの「見える化」～

- **P T A研修会等を活用したいじめ問題の啓発**
  - ・P T Aが実施するいじめやネットトラブルをテーマとした人権教育研修会への支援
- **民生・児童委員による子どもや家庭への見守り活動の推進**
  - ・就学時健康診断時や入学式等での民生・児童委員等の紹介やチラシの配布をきっかけとした子どもや家庭を見守る仕組みづくり
- **放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実**
  - ・放課後児童クラブ・放課後子ども教室などの取組の充実による体験、交流、学習活動の機会の提供
- **地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進**
  - ・学校支援地域本部事業など、地域ぐるみの取組の推進
- **「高知家のいじめゼロ子ども宣言」と「高知家の子どもたちがいじめで苦しむことのない社会づくり宣言」の普及**
  - ・ポスターやチラシ等による宣言文の趣旨や内容等の県民への周知
- **相談機関間の連携強化**
  - ・相談者の多様なニーズに的確に対応するための、各相談機関の対応力やコーディネート力の向上